

第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

新居浜市立垣生小学校 藤田 恵実

1 単元名 垣生山大好き探検隊 ～宝物を未来へつなごう～

2 単元の目標

- 垣生山の自然、歴史、地域の人々との関わりについて、体験を通して具体的な魅力を発見し、地域の財産、宝物として捉える。 【知識及び技能】
- 五感を使った体験活動や地域の人との交流を通して垣生山の自然や文化に親しみ、自分の発見した宝物を、相手に合わせて伝える。 【思考力・判断力・表現力等】
- 地域の人々との交流や自然観察を通して、垣生山への愛着を深め、地域を大切にしようとする態度を育む。 【学びに向かう力、人間性等】

3 単元について

(1) 教材観

「垣生山」は、垣生小学校校区の東に位置し、児童にとって身近な存在である。自然環境や歴史的な文化財を有し、地域住民が大切に保全活動を行ってきた山である。展望台の眺望からは、校区や燧灘、港の様子も観察できるため、社会的な地域理解、季節ごとに生息する動植物等身近な自然を五感で捉えることで理科的な視点における気付きや不思議の発見も期待できる。また、垣生山での体験活動や地域の人々との交流を通して、児童一人一人が見付けた宝物を発信していく活動では、国語科の表現活動にもつながるなど、教科横断的な学びを実践するのに適した素材といえる。

また、総合的な学習の時間が初めてとなる3年生にとって、身近な地域を扱うことは学習課題の設定、探究、情報の整理、まとめ、発表という探究プロセスを主体的に親しみながら学ぶことができる。そして、垣生山を維持管理している地域の人々との関わりにより、その思いに触れる中で、垣生山を大切に思う気持ちが高まり、地域への愛着を深め、未来へとつなぐ思いを育めると考える。

(2) 児童観

本校はコミュニティースクールであり、CS活動が年間40以上ある。児童の体験を通じた学びの多くは、公民館を中心に地域ボランティア等に支えられている。小学校3年生の児童は生活圏が広がり、身近な地域社会や自然に対して具体的な関心を持ち始める時期である。これまでに児童は、生活科の学習で生き物を探したり、地域を探検したりと身近な人・社会・自然と関わりながら学びを進めてきた。しかし、地名を知っていても、どのようなところであるのかはよく把握していなかったり、漠然とした理解に留まっていたりする児童も少なくない。そこで、地理的に身近な垣生山を取り上げ、「どのような山か」という問いから垣生山を探検することで、自分たちが見付けた宝物を紹介しようという課題を設定する。身近な地域の良さを体験として再発見することで、すばらしい地域資源への理解を深め、また、知識としてだけではなく、感情を伴ったシビックプライドの礎を築き、地域を大切にしたいという態度を育みたい。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず、垣生山での行事や活動写真を見せながら、垣生山について知っていることなどを自由に出し合う。垣生小学校の児童は、縦割り活動のオリエンテーリングやCSなど個人差はあっても、様々な場で垣生山との関わりがあるため、垣生山の地名はよく知っているし、知識として情報を得ている。その垣生山を未来に残すために、「宝物を探して伝えよう」という課題を設定する。宝物を探すという学びの中で、垣生山の魅力に気付かせ、未来の世代にも引き継ぐ価値あるもの、つまり「宝物」として捉え直す視点を持たせたい。次に、垣生山の探検に出発する。テーマを決めて五感を使った体験を行う。体験後は集めた情報や記録を整理し、宝物カードを作成していく。自分の考えをまとめ他者の意見を聞くことで多角的な視点を育むことが出来ると考える。また、地域の方々を「学びの先生役」として巻き込みながら児童一人一人が発見した「宝物」を多様な方法で表現・発信する活動へとつなげていく。下級生か保護者を対象に発表会を開き、伝える相手に合わせて工夫することで表現力や思考力も高めていきたい。

最後には、学習全体を振り返り、今後の生活で自分ができる「小さな約束」を一人一人が決めるようにする。その際には、地域住民やボランティアの保全活動に触れることで感じた思いを想起させ、持続可能な地域社会の担い手が存在していることで、垣生山が大切に守られてきたことに気付かせ、自分たちも未来の担い手として地域を大切にしようとする気持ちを涵養し、地域の一員としての責任感を育みたい。

(4) ESD との関連

・本学習に働かせる ESD の視点（見方・考え方）

相互性・・・行事や自分たちの生活と垣生山のつながり、自然や歴史、地域の人々のつながりに気付く。

有限性・・・持続可能な地域社会の担い手の存在に気付くことで、垣生山を大切に思い、未来の世代にも引き継いでいくために地域の一員として何ができるかを考える。

・本学習で育てたい ESD の資質・能力

・コミュニケーション力

地域ボランティアの方へのインタビューやグループでの交流を通して、自分の思いを伝えたり、相手の思いを大切にしながら聞いたりすることができる。

・幸福感

「宝物」を探していくことで、垣生山が地域の行事や活動、生活に役立っていることを学び、自分が住む地域や生活が豊かになっていることが、自分の幸せにつながるという意識を育てる。

・本学習で変容を促す ESD の価値観

地域への愛着と責任・・・地域の良さに気付き、それを未来の世代に伝える小さな責任感を育む。

身近な持続可能性・・・ゴミ拾いなど具体的な行動を通して、「大切な山をいつまでも」という意識を持たせる。

・達成が期待される SDG s

15 緑の豊かさを守ろう

4 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ主体的に学習に取り組む態度
<p>① 垣生山の自然や人々の関わりについて、具体的な宝物として記録が出来ている。</p> <p>② 垣生山の良さを考える中で自分なりの課題を設定している。</p>	<p>① 垣生山探検を通して、自分の発見した宝物を整理し、グループ内で意見を交流できている。</p> <p>② 相手（2年生か保護者）に伝わるよう、学んだことを工夫して表現している。</p>	<p>① 目的意識を持ち、主体的に探検の計画を立て活動している。</p> <p>② 地域の人のお話を聞き、ボランティアの思いや現状から、自分たちにできることを意欲的に考えようとしている。</p> <p>③ 垣生山の行事や活動を通して、垣生山を守ることが自分たちの幸福につながっていることに気づき、学んだことを工夫して発信しようとしている。</p>

5 単元の指導計画（全8時間）

時間	○学習活動	○学習への支援	評価・備考
1	<p>○ 課題の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・垣生山ってどんな山？ 垣生山の写真を集めてみよう。 ・垣生山の秘密や宝物を探してみんなに伝えよう 	<p>○ 子どもたちの興味・関心を基に主体的な学びへとつなげるため、垣生山の行事や活動の写真を見せながら、知っていることや好きな場所を出させる。</p> <p>○ 子どもたちのワクワク感を高めることで学習への動機付けを行う。</p>	ア①②
2 ～3	<p>○ 垣生山探検隊に出発して宝物を探す計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いきもの ・景色 ・植物 <p>○ グループでテーマを決めてフィールドワークを行う。</p>	<p>○ 体験を通して垣生山の財産を宝物として捉えさせ、タブレットやスケッチブックで記録を残すようにする。</p> <p>○ 五感を使った体験を重視することで学びを深める。</p> <p>○ 安全面に配慮する</p>	ウ①
4	<p>○ 垣生山物語を聞こう。</p> <p>○ 地域の人にインタビューする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山の手入れをしているよもだ 	<p>○ 昔話では、垣生山の手入れの努力や工夫していることなどを話していただくよう依頼する。</p> <p>○ 地域の人との交流を通して、つながり</p>	ウ②

	<p>会の人や、公民館長に山の昔話や秘密を聞く。</p> <p>・山の手入れをしている理由について尋ねる。</p>	<p>を実感させるとともに、山を守るための努力や人々の思いに触れる。【社会性】</p>	
5	<p>○ 宝物発見カードを作ろう 【グループ討議】</p> <p>○ グループ内でベスト宝物を伝え、その理由を発表する</p>	<p>○ 交流で得た思いも想起させ、自分の考えをカードに整理しまとめるようにする。</p> <p>○ グループ内では一人一人の意見を大切にしながら他者の意見を聞くようにすることで、多角的な視点を育むようにする。</p>	<p>ア①</p> <p>イ①</p>
6	<p>○ 未来へつなぐ発表の準備をする。</p> <p>○ 「宝物」をどう伝えるか発表方法を工夫する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居 ・新聞 ・クイズ大会 ・垣生山物語 ・年表など 	<p>○ 垣生山の宝物をどのように伝えたら山を大切にしてもらえるかと言う視点で考えるようにする。</p> <p>○ 相手意識を持たせ伝え方を工夫することで、表現力と思考力を高めるようにする。</p>	<p>ウ③</p>
7～8	<p>○ 発表会をする。</p> <p>○ 学習全体を振り返り、「小さな約束」を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・垣生山清掃に参加 ・ゴミを捨てない 	<p>○ 発表会を通して、垣生山が学校行事や地域の人々の生活に役立っていること、生活を豊かにしていることに気付くようにする。</p> <p>○ 地域を大切にする思いを育むために、未来社会への担い手の一員として、自分にできることを考えるようにする。</p> <p>○ 地域の人々の交流を通して得た思いを想起するように声掛けをする。</p>	<p>イ②</p> <p>ウ③</p>